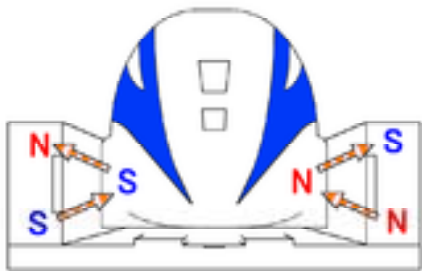


Point

J R 東海 大阪修繕車両所分会分会情報
No. 69 2010. 09. 13.
発行責任者 坂東 貞男
編集責任者 教 宣 部

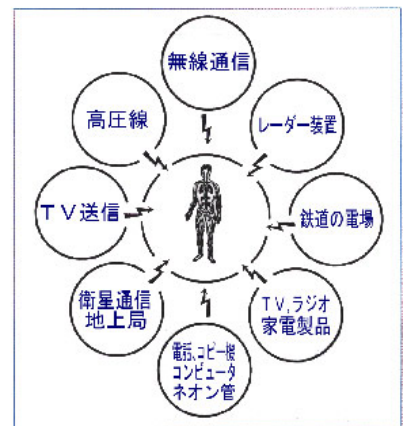
シリーズ『リニア中央新幹線ってどうなの?』⑦

目に見えない電磁波は大丈夫か!?



JR東海が計画しているリニア中央新幹線は、超伝導電磁石による磁気浮上式リニアモーターカー式、つまり強力な電磁力によって浮上して走行します。強力な電磁力には当然強力な電磁波が発生します。

目に見えない電磁波が健康に害を及ぼすことは皆さんも聞いたことがあると思います。身近なところでは携帯電話や携帯電話基地局、パソコン、IH調理器、電気毛布等々からも電磁波が出ており、時々、マスコミ報道でも問題になっています。また、高圧送電線からも電磁波が発生していて高圧送電線周辺での小児白血病の発生率が倍増するという調査結果が日本でも出ています。



JR東海の電磁波の基準で大丈夫か!?

リニアの運行を担う社員は大丈夫か!?

JR東海は、電磁波の基準を車内で20ガウスと設定しており、山梨実験線では最大でも十分基準内であるので問題ないとしています。しかし、2007年6月に出された WHO の環境保健基準では「3~4ミリガウス」で小児白血病発症リスクが約2倍と疫学調査は示しているとしています、「ガウス」「ミリガウス」桁違いに少ない電磁波でも健康に問題が発生すると言われていたことからすればJR東海の基準は疑問があります。

リニア中央新幹線は、東京~大阪間を67分で走るとされています、つまり乗客はリニアを利用した時に1時間ちょっと電磁波に曝されるだけですが(勿論、短時間と言え乗客も電磁波で健康被害を受ける可能性は大いにあります)リニアの乗務員や駅員などはどうなるのでしょうか!?

仕事として、毎日のように電磁波に曝された場合は!?